大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F139210110520	設置等組織名	データ&イノベーション学群
大学名	高知工科大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	高知	事業計画名	高知工科大学データ&イノベーション学群新設事業

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	令和５年４月 データ&イノベーション学群設置届出	令和５年４月 データ&イノベーション学群設置届出	令和5年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	令和６年４月 データ&イノベーション学群設置 2-①令和５年４月～８月 基本設計 2-②令和５年９月～12月 実施設計 2-③令和６年１月～４月 積算・建築確認申請 2-④令和６年４月～７月 施工会社選定 2-⑤令和６年８月～令和８年１月 新校舎建設 3-① 教育支援のための事務職員の配置 3-② マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）	令和６年４月 データ&イノベーション学群開設 2-①令和５年４月～８月 基本設計 2-②令和５年９月～令和６年１月 実施設計 2-③令和６年2月～５月 積算・建築確認申請 2-④令和６年４月～８月 施工会社選定 2-⑤令和６年８月～令和８年２月 新校舎建設 3-① 教育支援のための事務職員の配置 3-② マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	2-⑤令和６年８月～令和８年１月 新校舎建設 2-⑥令和７年４月～令和８年１月 機械警備・監視カメラ構築費等付帯設備導入、情報インフラ整備 2-⑦令和８年２月～３月 什器備品・教育関係設備整備 2-⑧令和８年４月 供用開始 3-① 教育支援のための事務職員の配置 3-② マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）	2-⑤令和６年８月～令和８年２月 新校舎建設 2-⑥令和７年４月～令和８年３月 機械警備・監視カメラ構築費等付帯設備導入、情報インフラ整備 2-⑦令和８年２月～３月 什器備品・教育関係設備整備 2-⑧令和８年４月 供用開始 3-① 教育支援のための事務職員の配置 3-② マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	3-① 教育支援のための事務職員の配置 3-② マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	3-① 教育支援のための事務職員の配置 3-② マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和５年４月 データ&イノベーション学群の設置届出予定	令和５年４月27日 データ&イノベーション学群の設置届出	
定員減又は 学部等の廃止			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	高知工科大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
●高知県をフィールドとした課題解決型学習を行うこととし、地場企業のみならず、１次産業、市町村、博物館等の文化施設との連携教育を行う予定である。学生がグループごとに企業等と連携して取り組み、対象科目は１～３年生の各学年に数科目配置予定である。 ●本学、高知大学及び高知県立大学は、協定により相互に授業履修、単位修得が可能な環境が整っている。この３大学が連携し、地域医療課題の解決を前提とした公衆衛生学、経営・経済学のﾍﾙｽｹｱ組織への応用科目、AIやICT技術を導入した最先端農業に関連する科目を学生に提供している。これらは新学群においても提供予定である。 ●海外との連携については、海外協定校60校のうち26校と学生交流の覚書を締結し、多様な国・地域の大学と交換留学が可能となる体制を整備している。特にチェコのフラデツ・クラロベ大学やスペインのバレンシア工科大学とは活発に交流が行われており、新学群にはこれらの大学がもつ学問分野が含まれることから、研究留学や科目履修による学生交流の積極的な推進を図る予定である。	●第１期生62名に加え、第２期生68名が入学し、PBL（Project Based Learning）を中核とした教育を本格的に展開した。学生は企業・自治体等と連携したプロジェクトに取り組み、「連携先ファースト」を起点とした課題設定のもと、最先端AIシステム等の次世代デジタル技術を活用した実践的な学修を進めた。令和７年度は、NTT西日本、高知県教育委員会、高知県警察、高知みらい科学館等を含む公共プロジェクト、協同組合帯屋町筋、高知城歴史博物館、井上ワイナリー等と連携した地域資源プロジェクト、あいおいニッセイ同和損害保険、宇治電化学工業、セブン-イレブン・ジャパン等と連携した横断プロジェクトなど、３カテゴリーにわたる25プロジェクトを運営する体制を構築した。各プロジェクトでは、多様な情報を整理し、複数の生成AIを用いた「AI会議」による意思決定プロセスを導入し、現場に即した戦略設計や課題解決に取り組んだ。具体的には、コンビニ業態の地域戦略設計に加え、オンワードグループのギフト事業を基盤とした次世代ビジネスの方向性検討、あいおいニッセイ同和損害保険におけるテレマティクスデータを活用した行動分析等を行った。また、帯屋町商店街では、AIアバターを活用した接客支援や回遊促進の実証を通じ、来訪者の回遊行動の可視化と変容に関する検証を進めた。これらの活動を通じて、学生は教室での知識と現実の社会課題との乖離を実体験として理解するとともに、企業・地域と共創しながら価値を創出する能力の養成が図られた。 ●内閣府のIoPプロジェクト（展開枠）と高知県主導のヘルスケアイノベーションプロジェクトを通じて、高知大学との連携を引き続き強化した。本学のハウスを利用したIoTとAIを活用した先端農業の教育サービスも、高知大学と共有した。さらに、高知県立大学と永国寺キャンパスでの授業共有を進め、データサイエンス、経営、地域科学の科目における連携を強化した。また、令和８年度の永国寺キャンパスへの移転を見据え、高知県立大学及び高知大学との地理的近接性を活かした、より一層の教育連携の実現に向けた仕組みづくりの基盤整備を進めた。 ●海外との連携については、引き続き65校の海外協定校（うち学生交流の覚書を締結しているのは30校）と連携を図り、多様な国・地域の大学との交換留学が可能となる体制の整備を継続している。チェコのフラデツ・クラロベ大学やスペインのバレンシア工科大学に加え、タイのカセサート大学などとも継続的かつ双方向の交流が行われており、新学群も含めて研究留学や科目履修留学、また様々な短期プログラムを通じて協定校との学生交流を今後も推進していく。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
●当該学群は文理統合型人材の養成を目的としているため、高校での理系・文系の選択に依存しない入学試験となるよう教科・科目を設定している。大学入学共通テストの教科「情報」についても同様の理由から必須とはせず、選択科目として利用することを予定している。 ●新学群において女子学生に限定した学校推薦型選抜を実施する予定である。また女子学生の支援については、令和５年度に新たに「女性エンジニア育成支援センター」を立ち上げ、取組を進めている。 ●高等学校教科「情報Ⅰ」の改訂に伴うAI・データサイエンス・セキュリティ・プログラミング分野の教育内容強化のため、高知県教育委員会と「デジタル教育連携に関する協定」を締結し、高等学校の授業において連携を行っている。 ●社会人特別選抜を実施予定である。また社会人を対象とした大学院起業マネジメントコースで提供しているDXによる経営革新等の教育研究機能を、新学群に組み込む予定である。	●「文理統合型人材」を受け入れるため、高等学校での理系・文系の選択に依存しない入学試験を実施した。また、学生の多様性を実現するため、引き続き、令和８年度入試（令和７年度実施）の学校推薦型選抜にて「女子学生に限定した入学試験」を実施した（志願者11名、合格者８名）。その結果、文・理、男・女を問わず様々な背景を持つ学生を受け入れた。【入学生70名（うち女子学生30名）】 大学入学共通テストの教科「情報」は選択科目として利用しており、今年度からさらに一般選抜前期日程の個別学力検査に「情報」を選択科目として追加した。 ●引き続き、令和８年度入試（令和７年度実施）の学校推薦型選抜にて「女子学生に限定した入学試験」を実施した。（志願者11名、合格者８名）。女性エンジニア育成支援センターでは、女性エンジニアとして活躍する卒業生を招聘して行う座談会や意見交換会を、女子学生のキャリア支援強化策として継続実施した（令和５年度より開始）。また、学群や学年を超えた女子学生のネットワークづくりに取り組むとともに、毎年度制作している女子学生による女子在学生・女子卒業生のロールモデルを紹介する冊子についても令和７年度に刷新した。さらに女子学生を増やすための取組として、オープンキャンパスにおいて女子エンジニアコーナーを設け、理系に進んだ後の学生生活や就職等の将来の不安について女子学生による相談を実施、新たに令和７年度から大学祭等のイベントにおいて理系の楽しさ、面白さを伝える子供向けの科学体験教室を実施した。 ●高知県教育委員会との「デジタル教育連携に関する協定」に基づき、高知県立追手前高校をはじめとする進学校の高校生を対象に、情報Ⅰの内容に沿った講義を実施した。特にプログラミング実践に関する部分では、ハンズオン形式の指導を４コマ分の時間をかけて、７クラスに対して行った。 ●学生の多様性を実現するため、引き続き学士課程の社会人向け入試である「社会人特別選抜」の募集要項を作成し、本学ホームページ等に公開した。令和８年度入試（令和７年度実施）において、１名の出願があったが合格者はいなかった。令和７年度から大学院工学研究科基盤工学専攻に新たに設けた「デジタルイノベーションコース」についても「社会人特別選抜」を実施したが、出願者はいなかった。新学群の学生の進学が見込まれる「デジタルイノベーションコース」について、カリキュラムの精査と科目ごとの立上げシラバスの作成を行った。なお、起業マネジメントコースで提供しているDX教育の内容を含んでいる。また新学群については、文理融合型のデータサイエンス・AI教育プログラムを策定し、実践的かつ先進的な学びを提供する体制を整えた。	

大学名	高知工科大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	データ＆イノベーション学群（工学関係）

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定・届出	開設																	
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人		60	60	60															
		編入学定員	人		-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	60	60	60															
		入学者数	人	-	62	68	70															
		女子学生数	人	-	22	22	30															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	60	60	60															
		入学者数(B)	人	-	62	68	70															
		女子学生数	人	-	22	22	30															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.03	1.13	1.17															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	60	120	180															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	62	129	199															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.03	1.08	1.11															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	3	4	3															
		授業科目の単位数	単位	-	8	16	18															

大学名	高知工科大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	360	430	430	430															
		入学者数	人	394	470	448	465															
		女子学生数	人	77	99	89	118															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	360	430	430	430															
		入学者数(B)	人	394	470	448	465															
		女子学生数	人	77	99	89	118															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.09	1.04	1.08															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,450	1,510	1,580	1,650															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	1,600	1,653	1,733	1,833															
		編入学者数	人	2	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.09	1.10	1.11															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	355	318	322																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	12	13	14	15															
		授業科目の単位数	単位	68	58	72	100															

大学名	高知工科大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	520	590	590	590															
		入学者数	人	573	644	610	643															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	520	590	590	590															
		入学者数(B)	人	573	644	610	643															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.10	1.09	1.03	1.09															
	収容定員等	収容定員(C)	人	2090	2150	2220	2290															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	2302	2358	2440	2539															
		編入学者数	人	2	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.10	1.10	1.11															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	H30年度 申請−5年	R1年度 申請−4年	R2年度 申請−3年	R3年度 申請−2年	R4年度 申請−1年	R5年度 選定	R6年度 開設	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
外部資金獲得額	千円	262,445	452,696	670,908	475,810	434,346	404,711	463,012	627,607											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額	千円	454,284
本事業による助成金の額(F)	千円	490,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	466,534

特記事項